

第3回男女共同参画フォーラム

女子医学生や若い女性医師
サポート事業

日本医師会男女共同参画委員会
桜井えつ

女子医学生や若い女性医師サポート事業

事業の目的と実施概要

医療技術の進歩や、医師と患者関係の変化により、医療労働量はますます増加します。男性医師・女性医師に限らず、安心して医療を提供できる体制を作るために、全ての医師の労働条件の改善が急がれます。

とりわけ、増加した女性医師が、生涯にわたり持っている能力を十分発揮できる環境作りが重要です。

この目的で計画されたのが、本事業であり、女子医学生や研修医などの若い女性医師たちへの働きかけを、10箇所で行いました。

モデル事業実施県



モデル事業サブタイトル一覧

1. 医学生・医師による医療を考える合同懇談会 (北海道)
(女性医師がキャリアを継続していくために)
2. 女性医師が働きやすい環境を考える (秋田)
3. 女性医師のキャリアデザインを考える (千葉・神奈川)
4. わたしたちの明るい未来を目指して！ (長野)
5. 女子医学生をサポートする会 (愛知)
6. 一緒にかたりあってみませんか？これからの生き方を (島根)
7. 生涯いかそう あなたの 才能とキャリア (徳島)
8. 医療崩壊－高所大局から医療をみなおす (福岡)
(女性医師4割時代へむけて)
9. 自分たちの将来はどうなるのか？ (鹿児島)

講師の方々

女性医師

子育て中あるいは子育て経験がある、
病院勤務医・大学教官・開業医・行政職など

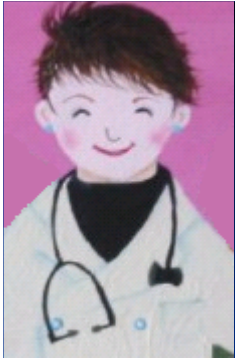
男性医師

病院長・大学教官・行政職など

地域の先輩女性医師が多く選ばれている

参加者

ずっと働き続けられるかどうか
身近な、自分の将来の姿をみたい



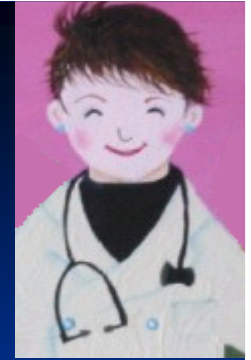
モデル事業で語られたこと その1 女性医師としての心構え

主婦になるために医学部に入学したのではない
女性医師という選ばれた仕事への誇りと社会に
還元していく使命の自覚を持つこと

社会的支援は“子育て支援”であることの認識を
持って、他に甘えてはならない

持続することが大切である

モデル事業で語られたこと その2 働き続けることへの考え方

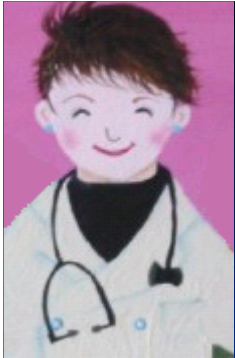


才能や今までの努力を無駄にするのは、もったいない

一度やめると、再開(復職)は難しい

どんな形でも仕事を続けてほしい

一時的には、周囲と同じスピードでのキャリアアップは望めないかも知れないが、決してあせらないこと



モデル事業で語られたこと その3 仕事と生活(家庭)の両立

二者択一でなく、両方を手にいれてほしい。
そのためには、就労環境改善、特に保育体制の
整備が必要

パートナー・上司・同僚・コメディカルスタッフなどの
サポート

人に任せられる仕事と、自分がしなければなら
ない仕事との取捨選択・優先順位

お金で時間を買う(家電製品・家事の外注・食品
宅配システム利用・家政婦さんなど)

モデル事業で語られたこと その4

仕事と生活(家庭)の両立

内科男性開業医(子ども3人)より

- ・女医さんと結婚するなんて思ってなかったけど 仕事は同じだから 収入だってイーブンだろう
- ・ ということは、家事育児もイーブンにするべきだろうなあ。
- ・ やるべきことをやっておかんと 言いたいことも言えへん。
- ・ 妊娠出産の間はこっちに比重がかかるけど、それはしゃあないなあ
- ・ 仕事で負けないように、家事でも負けないようにしよう(別に勝ち負けやないんやけど・・・)

モデル事業で女子医学生達から 出された多くの質問

結婚・出産・子育てについて

理解あるパートナーを選ぶには

家庭で過ごす時間の確保は

結婚後の留学の考え方

職場での理解・苦勞・モチベーション維持は？

男性との体力差・女性に適さない科は？

女性医師の誇りは？利点は？

こういった いろいろな不安や疑問を
受け止め それに応えられるよう
行政も 医師会も
取り組むべき課題は少なくないが...

でも……

仕事も家庭も！



身近なところで 誇りを持って仕事をしている
先輩女性医師の姿が
何よりの答えになる！

モデル事業の総括

事業に参加し、身近にいる先輩女性医師が、誇りを持って医師として働いている“生”の姿をみて



医師として生涯働き続けることができる、未来への希望が持てた、という参加者の声が大きかった



(結論)このような事業を継続してゆく意義は大きい

次代の医療を担う若い世代へ
大いなる期待を寄せ
働きやすい環境づくりに
せいりっぱいの努力を
続けます

日医男女共同参画委員会一同

各県医師会へお送りしたスライドをご活用ください・・・